

「15分授業」など特色披露

諸富北小 関係者90人に学習公開

佐賀市

児童の
主体性を

育もつと取り組む諸富北小(江島さつき校長)は21日、県内の教育関係者約90人に特色ある授業を公開した。本年度から導入した15分



モジュールタイムの授業中、和歌を大きな声で音読する6年生
—佐賀市の諸富北小—

位で基礎知識を養う授業を公開したり、筑波大学附属小教諭による算数の特別授業を行った。

公開された「モジュ

ールタイム」という授業は、通常45分の1コマを15分ずつ区切り、基本的な知識を養う音読や百マス計算、都道府県名を覚える学習な

どから3項目を扱う。口頭でのやりとりや瞬発力を重視し、脳の活性化や集中力を高める効果が期待される。同校では今年で週1回導入している。

筑波大学附属小の夏坂哲志教諭による算数の特別授業には4年生27人が参加。等間隔に16の点(4点×4列)が描かれた用紙を使い「点を結んで、何種類の正方形が作れるか」という問題に取り組んだ。活発な意見交換を重視した授業が展開され、参加者らは興味深げに聞き入っていた。

上釜武蔵君(10)は「先生の説明がとても分かりやすい。算数はあまり好きではないのにすごく楽しめた」と目を輝かせた。

(小川綾)